

メールの安全性を守る仕組み

著者: ITサポーター・M K


日付: 2025年1月17日

目次


1. メールの仕組みとは？
2. SPFとは？
3. DKIMとは？
4. DMARCとは？
5. まとめ


メールの仕組みとは？

- メールは手紙のようなもの。
- 送り手、受け取り手、配達人がいます。
- しかし、偽物の送り手を名乗る人がいるかも！

 手紙: メールの内容

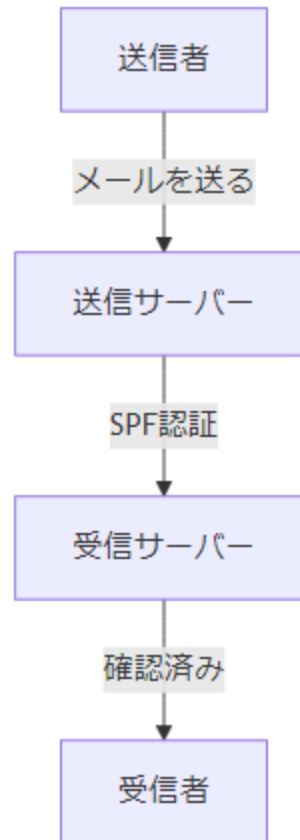
 送り手: メールを送信する人

 受け取り手: メールを受信する人

 配達人: メールサーバー

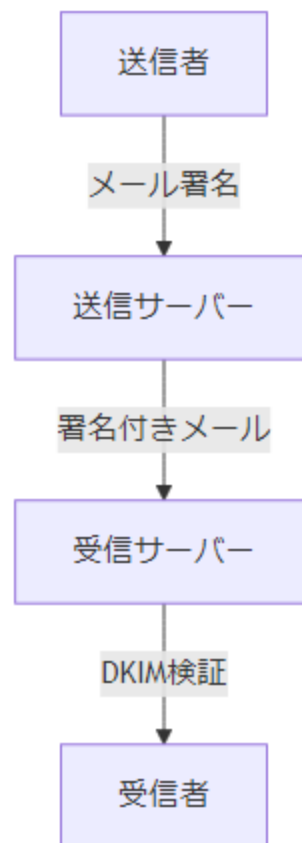
SPFとは？

- SPF (Sender Policy Framework) は「このサーバーから送られたメールは本物だよ！」と証明する仕組み。
- 郵便でいう「正規の配達員」です。
- SPFが正しいと、偽物の送り手をブロックできます。



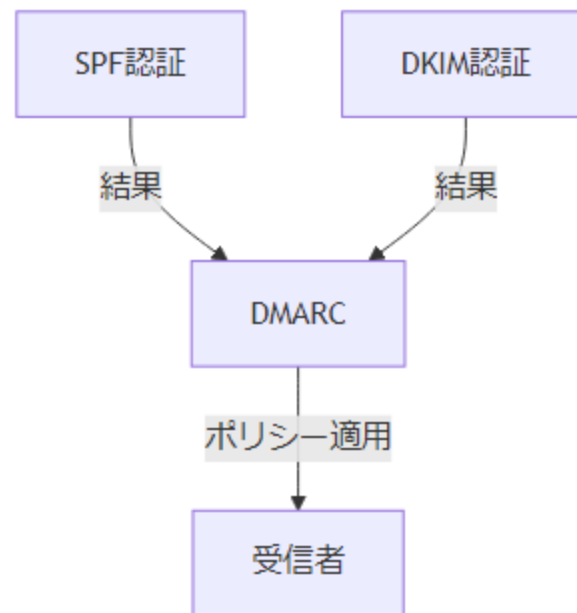
DKIMとは？

- DKIM (DomainKeys Identified Mail) は、メールに「送り主の署名」を付ける仕組み。
- 郵便でいう「送り主の封印」です。
- DKIMが正しいと、「内容が改ざんされていない」ことが分かります。



DMARCとは？

- DMARC はSPFとDKIMをまとめて使う仕組み。
- 郵便でいう「配達確認サービス」。
- メールが正しく認証されていない場合、どう処理するかを指定できます。



まとめ

- SPF：正規の配達員かチェック。
- DKIM：送り主の署名で内容を守る。
- DMARC：SPFとDKIMを使い、偽物をブロック。

メールセキュリティプロトコルの比喻

- SPF = 配達員の正当性
- DKIM = 封筒の封印
- DMARC = 配達確認